

<b>地方公共団体</b>	宮古島市
<b>所在地</b>	沖縄県宮古島市平良字西里186番地
<b>地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命の水である地下水が保全され、森林や生態系、周辺海域のサンゴ礁が維持されている。</li> <li>・自然資源による恩恵が観光業だけではなく、農業や漁業などの地場産業の根付きにもつながっている。</li> <li>・ローカルファイナンスの考え方にに基づき、地域資源を活用したコミュニティビジネスが展開されている。</li> <li>・経済流出の要因となっているエネルギーに対し、省エネ対策と再エネ導入が進み、自給率が向上している。</li> <li>・地域住民の自治意識の向上により、社会課題の解決能力を地域全体が保有している。</li> </ul>
<b>地域の現状・課題</b>	<p>観光客数が過去4年で約3倍増し、それに伴い新規リゾート開発や大型店舗の建設で作業員なども島外から流入、住宅の不足から集合住宅の建設も相次いでいる。経済状況は活況となっているが、経済発展の恩恵を受けている実感がなく、家賃の高騰や飲食店・小売店の混雑など、市民生活への悪影響が顕在化しており、市民の間にも戸惑いが広がっている。</p> <p>環境保全、資源循環についてはある程度蓄積があるものの、地域経済分析については十分な蓄積がない状況にある。</p>
<b>地域が持つ資源</b>	サンゴ礁生態系をはじめとした自然環境、農水産物の一次産品、市内に植生する植物等、地域内のエネルギー資源、地域内の空き家などの社会資源、地域内人材
<b>取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境キャパシティを踏まえた持続的な観光のあり方共有</li> <li>・産業間連携による経済循環構造の確立</li> <li>・地域経済循環確立に向けたローカルファイナンスの仕組みづくり</li> <li>・地域資源を活用したコミュニティビジネス等の展開</li> <li>・エネルギー自給率向上およびエネルギーコスト低減化</li> <li>・各種データの見える化や事業参画による住民自治意識の向上</li> </ul>
<b>地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果</b>	<p>(環境)回復可能な負荷の範囲の明確化、その範囲内での持続的な利活用の仕組みづくり。エネルギー自給率向上によるCO2排出量の削減。</p> <p>(経済)地域内の所得や付加価値の向上。</p> <p>(社会)地域循環共生圏づくりの必要性の共有による様々な課題に対する市民一人一人の自分事化の促進。社会関係資本の強化による自発的・持続的な取り組み体制の構築。</p>



なうさ道



伊良部大橋



前浜ビーチ



東平安名崎